

平成20年度 図画工作部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

《研究主題》
創造力と豊かな情操を育成する学習指導と評価の工夫

第一 回	日時	平成20年6月4日 13:40～16:30
	会場	京丹波町立下山小学校
	研究の概要	(1)授業研究会 学年 第6学年 教材名 「くねくねアート」 (2)事後研究会 (3)テーマ研修「児童作品交流」 内容 児童の絵画作品をもとに、技法や指導方法等について交流する。
第二 回	日時	平成20年7月23日 13:30～16:30
	会場	京都伝統工芸大学校
	研究の概要	(1)実技研修会 テーマ 「自然との共生をめざす工作教室」 講師 京都伝統工芸大学校 兵庫教育大学名誉教授 内容 野山にある身近な材料から、そのよさや美しさを見つけ、作品作りに生かす実技研修
第三 回	日時	平成20年11月26日 13:45～16:30
	会場	南丹市立園部第二小学校
	研究の概要	(1)授業研究会 学年 第2学年 教材名 「しゃぼん玉をとばしたよ ～楽しくかこう～」 (2)事後研究会 (3)実践報告 動く仕組みを利用して、楽しく遊べるものをつくりだす喜びを味わう 「ゆらゆらころころ」 報告者 南丹市立殿田小学校

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>(1)成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研修会を通して、様々な技法や指導法について学ぶことができた。特に、本年度は高学年と低学年の授業研修会ができ学年の違いによる指導法について学ぶことができた。 ・実技研修会では、自然の中にあるものからその素材の良さや美しさを見だし、作品作りに生かす指導法を学ぶことができた。特に、染め木を使って、色や形などの特徴を生かしながら作品を作ることで、児童が作品を作るときの構想や計画について、指導者として見通しがもてたのがよかった。 ・実践発表では、児童が学習の見通しを持ちながら作品作りに取り組むための題材の工夫や指導計画の工夫について学ぶことができた。特に、児童に活動の見通しを持たせることで、児童が様々な工夫をしながら主体的に学ぶ指導の在り方を学ぶことができた。 ・児童の作品交流では、全国教育美術展の入選作品や各先生方の実践された作品から学ぶことで、指導の在り方や技法などについて明らかになった。また、意見交流や質問の時間を設け、日頃の実践の悩みや新たな手法について、互いに学ぶことができた。 <p>(2)課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な授業を公開していただいているので、事後研究会をさらに充実したものにしていきたい。 ・新学習指導要領の図画工作科の趣旨を徹底しながら、日々の実践に生かせるよう、指導方法の研修はもとより、評価の在り方についても研修を深めたい。 ・絵画指導に関わっての実技研を充実させていきたい。 <p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期休業中の研修会に、他の教科部員も参加することができるようになり良かった。
<p>来年度への研究課題</p>	<p>新学習指導要領の趣旨を生かしながら、主体的・創造的な表現力を高める指導と評価のあり方はどうあるべきか研究する。</p>
<p>その他の研究活動</p>	<p>(1) 全国教育美術展への出品</p> <p>(2) 京都府学校文化・芸術祭 第40回教育美術展覧会への出品 平成21年1月24日(土)・1月25日(日) 京都市美術館</p> <p>(3) 南丹美術工芸教育展への出品 平成21年1月31日(土)・2月1日(日) 南丹市立国際交流会館 南丹市立文化博物館</p> <p>(4) 府小研図画工作科研究発表会(平成21年度発表) 中間発表 平成20年11月20日(木) 宇治市立三室戸小学校</p>